

学校

広島県立三原高等学校 山本大輔 先生

【学校情報】 公立、普通科(1学年あたり約160名)

【進学実績(2025年度)】 四年制大学371名（うち国公立大学67名） 短期大学5名 専門学校13名 就職1名

活用学年

高校1・2年生

課題

■個別最適化

- ・ 習熟度別にクラスを分けていたが、一律の教材を使用していたため満足度が低かった。

■スピーキング指導

- ・ 時間的な制約がある中で、評価の一貫性を担保しながらスピーキングの個別フィードバックを複数回行うのは難しい。

■自習メニュー(リーディング・リスニング)

- ・ 自主性を重視し、リーディング（レッスン1-20）とリスニング（レッスン1-30）を4月の月間課題として設定。生徒に学習マネジメント力を養わせる。

■AIトーク&ディベート ※AIトーク&ディベート：指定されたテーマでAIと会話をするコンテンツ

- ・ 授業内でAIトークを活用。必ず習った表現をアウトプットさせる。その後生徒同士でのフィードバックを促進。

活用機能
活用方法

効果

- ・ 英語が苦手な子でも、AIにより音声が多く認識されるため楽しく取り組んでいる。
- ・ スピーキングの個別フィードバックが可能となった。
- ・ クラス別で個別最適な指導が可能となった。

Reading

レベル	A1.1	A1.2	A1.3	A2.1	A2.2
Lesson 1～10	語句理解	語句理解	チャット	空欄補充	空欄補充
Lesson 11～20	図版情報検索	語句理解	図版情報検索	図版情報検索	図版情報検索
Lesson 21～30	語句理解	図版情報検索	チャット	Eメール	概要把握
Lesson 31～35				長文読解	図版情報検索
Lesson 36～40				図版情報検索	長文読解
確認問題	語句理解	図版情報検索	図版情報検索	Eメール	概要把握

■ 取組み

- ① リーディングのレッスン1-20、リスニングのレッスン1-30を4月の「月間課題」とする(5,6月に取り組む内容も提示済み)。
- ② 完了済みのチェックがついているかどうかスクリーンショット提出で確認する。

■ こだわり

- ・ 週間ではなく月間課題とする。学習マネジメント力を鍛える。
- ・ 標準クラスはA1.1、発展クラスはA1.2のものを取り組ませる。
- ・ 課題配信だとレッスン1-20でそれぞれ20個項目が出てきて、ハードルが高く感じるので自主的に取り組ませる形に。
- ・ 積極的に使用させる機能を絞る。



令和7年度2年1学期

GELP 進捗表（配信予定表）

Check

	標準クラス		発展クラス	
	リーディング	リスニング	リーディング	リスニング
4月	A1.1 Lesson 1～20 問題、練習	A1.1 Lesson 1～30 問題、練習	A1.2 Lesson 1～20 問題、練習	A1.2 Lesson 1～30 問題、練習
5月	A1.1 Lesson 21～30 問題、練習 A1.2 Lesson 1～10 問題、練習	A1.1 Lesson 31～45 問題、練習 A1.2 Lesson 1～15 問題、練習	A1.2 Lesson 21～30 問題、練習 A1.3 Lesson 1～10 問題、練習	A1.2 Lesson 31～45 問題、練習 A1.3 Lesson 1～15 問題、練習
6月	A1.2 Lesson 10～30 問題、練習	A1.2 Lesson 16～45 問題、練習	A1.3 Lesson 10～30 問題、練習	A1.3 Lesson 16～45 問題、練習

《補足》

月末 or 月初めの英コミの授業で、授業担当者がみんなの進捗状況を確認する時間を設けます。(予定) ※これを提出物点とみなします。

進捗表を確認して、月ごとのやるべき問題に計画的に取り組んでください。

早く終わらせたい人は一度に取り組むのもよし、ゆっくり進めたい人は1日0個ずつなどの計画を立てて取り組みましょう。

GELPはみんなの英語力向上のカギを握っています。誠実に取り組みましょう。

授業（50分）

授業

- 教科書ベースの通常の授業。
(例)未来についての表現を学ぶ

GELP
①問題指定

- 授業内容に合わせてテーマを指定。

(例)AIトークで「長期休みの予定について」というテーマを指定。ここでAIとの会話中に授業で習った表現を使うように指示。

GELP
②先生の手本

- 先生がみんなの前で実践し、**All★2**を取る。
- 手本を踏まえて、みんなで**All★2**を目指して取り組ませる。

振り返り

- 会話内容をペアで見せ合い、教え合う。
- 習った表現をすぐに使ってアウトプット、それをお互いに見ることでダブルインプットを狙う。

ニュアンスの違いを確認しよう

比較	ニュアンス
be going to	すでに「決めた予定」感が強い
be about to	今まさに「直前」の行動
be planning to	「計画段階」・まだ準備中の状態



GELPで実践練習！



AIとのやりとりで、今日習った表現を、最低1つ使ってみること。
ALL☆☆評価を目指す。表現が使えたかどうか、あとでペアで確認！

今日習った表現

未来の受動態 / 完了形の受動態 / 進行形の受動態

It is said that～ / It is believed that～

使える語彙・文法を
増やしたい

家でもAIトークを
使いたい

もっと良い点数を
取りたい



生徒の感想

- AIとの会話のやつ**また挑戦**したいです。
- AIと話すときもっと賢そうな会話をしたい。
- AIとの会話で**もっと色々な表現**を使う。
- AIと話すときに**文章量を増や**したい。
- AIとの会話で**星2評価**を取る。
- もっとAIと喋りたい。
- GELPのAIのやつ**家でもやり**たい。
- GELPをもうちょっと評価を高くしてもらうように頑張る。
- GELPで**もっと長い文**を話せるようになりたい。
- AIに質問で返してみたい。
- マジで本当にそろそろ良い加減ジェルピーの評価ちゃんと出したい。
- **習った文法を積極的にGELPで使っていこう**と思います。

(原文ママ)

様々な英語使用の場面に応じて、生成AIと自由に、何度でも会話
生成AIが生徒の意見を引き出す手助けをしながら、会話後に発話内容の良かった点や改善点についてフィードバック

AI Talk：日常的な会話の場面を想定したレッスンでは、英語でのやり取りに慣れるための練習ができる

AI Debate：ディベートを想定したレッスンでは、自分の意見を論理的に伝えるための練習ができる

コンセプト



CEFR
A1~A2

発話量が少ない（英語で話せない）
何を話したらいいかわからない
言いたいことはあるが、英語でどう言えばよいか分からない
英語で話すことに抵抗感がある（間違えるのが怖い／苦手意識）

つきたい力

Fluency

アイデアをたくさん出す
間違えることを恐れずに話す
やり取りを継続する

Complexity

知らない単語を学ぶ
使える単語を増やす

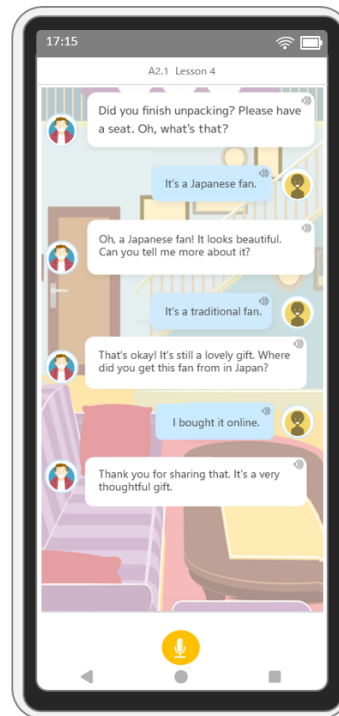
AIで実現

- 良かった点を褒める
- 内容面の改善点をフィードバックする
- 生徒のアイデアを引き出す
- 会話を継続できるようにサポートする

活用場面
(例)

- 授業の帯活動として
- Speaking活動の宿題として

対話



様々な英語使用の場面に応じて、生成AIと自由に、何度でも会話
生成AIが生徒の意見を引き出す手助けをしながら、会話後に発話内容の良かった点や改善点についてフィードバック

AI Talk：日常的な会話の場面を想定したレッスンでは、英語でのやり取りに慣れるための練習ができる

AI Debate：ディベートを想定したレッスンでは、自分の意見を論理的に伝えるための練習ができる

コンセプト



自分の考えを論理的に展開できない（どう話したらいいかわからない）

CEFR B1~

つけたい力

Logical thinking

自分の意見や主張、立場を明確に述べる
意見に対する理由を述べる
理由をサポートする具体的で詳細な例や説明を述べる
理由や根拠が適切である（論理に矛盾や飛躍がない）
反対意見に対して、多様な視点を持って相手の意見を尊重しながら、自分の論を説得力を持って述べる

AIで実現

- 生徒から意見とその理由や例を引き出す
- 生徒の立場とは反対の意見を述べる
- Debateで使える表現のヒントを提示する

活用場面
(例)

- Debateの授業の事前準備として、宿題として
- ※今後、先生方へのヒアリング等を通して、活用例を増やして参ります。

対話



AIの役割（例）

理由を聞く

例を引き出す

論を深める
質問をする

ヒントを
提示する

反対意見を
提示する

要約を
うながす

評価

